

研究員宿泊所利用案内

本宿泊所は、京都大学複合原子力科学研究所に共同利用研究のため来所される研究者等のための宿泊施設です。お互い迷惑をかけずに気持ちよく過ごしていただくことを願っております。

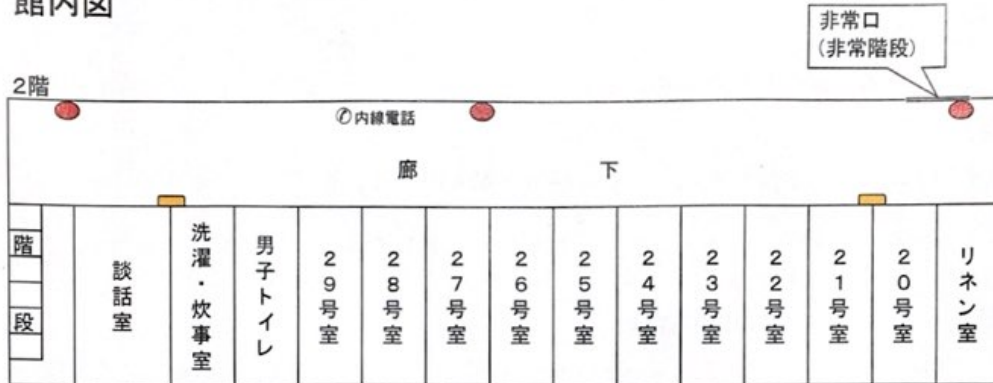
ご利用にあたっては、この「研究員宿泊所利用案内」をご一読ください。



(研究員宿泊所正面)

※ 宿泊所は、客室含めすべて禁煙です。

館内図



● 消火器
 ■ 火災報知器



■ テンキー (夜間入館の際は暗証番号を入力)

【所在地】

〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西二丁目
(複合原子力科学研究所正門から徒歩5分)
TEL: 072-451-2312 (共同利用掛)、2313 (宿泊管理室)
E-mail kyodo2312@rri.kyoto-u.ac.jp (共同利用掛)

【利用できる者】

共同利用研究者および所長が認めた者。

【利用申込】

宿泊希望者は、「宿泊所使用願」に必要事項を記入のうえ、研究所員を通して、電子メールにより共同利用掛へお申し込みください。

但し、共同利用で来所される場合には、出張計画の提出をもって使用願とします。

また、利用できない日がありますので詳細はホームページでご確認ください。

【利用料金】1泊1,000円(前納)

原則、利用当日の8:30~17:15(12:00~13:00を除く)までに、釣銭のいらぬよう共同利用掛受付へお支払いください。

一旦納められた宿泊料金は返還できませんのでご了承ください。

【チェックイン】

原則として**午後2時~午後8時**の間をお願いします。

上記時間外に入所の際は、事前に共同利用掛又は、宿泊所管理室へご連絡のうえ、宿泊予約時にお知らせする「暗証番号」を入力のうえ、入所してください。「暗証番号」は、時間外の出入りに必要となりますので、忘れないようにして下さい。なお、暗証番号は、不定期に変更することがあります。

部屋の鍵は、宿泊所管理室でお受け取りください。外出の際には管理室横のキーボード(館内図参照)に掛けておいてください。鍵を紛失されますと、実費弁償いただきますので鍵の管理には、十分ご留意下さい。

【チェックアウト】

午前10時です。退室の際、鍵は管理人又は管理室横のキーボードに返却してください。

【予約変更・キャンセル】

宿泊期間の変更やキャンセルについては、必ず事前に共同利用掛にご連絡ください。

【設備等の利用について】

※入浴

1階に男女浴室があります。入浴時間は、**午後5時から午後10時まで**です。

但し、シャワー設備については終日(午前11時~午後1時を除く)利用できます。

浴室を出る際、最後の方は浴槽の蓋およびお湯の栓を閉めてください。

※談話室(和室)の利用

2階の談話室は自由に使用してください。利用は**午後5時から午後11時**までです。

時間厳守をお願いします。

※貸し出し物品

自転車、傘、使用される方は、**午前9時～午後8時の間に管理人に申し出て許可を得てから**使用してください。使用後は必ず返却してください。

※その他の備品

自由にご使用ください。使用にあたっては、使用上の注意等に留意し、損傷のないよう心掛けてください。万一損傷等をされた場合には、必ず管理人に届け出てください。場合により実費弁償していただくことがあります。なお、備品の整理整頓は各自必ず行ってください。

※冷暖房

原則として**冷房は7月、暖房は12月から**お願いします。外出時には部屋の電気を必ず消灯し、省エネルギーにご協力ください。

※炊事

2階炊事・洗濯室にIHクッキングヒーター、電子レンジ、カセットコンロ、オーブントースター他、鍋や食器類もあり、簡単な自炊ができますので、自由にご利用ください。なお、冷蔵庫は、自分の名前など明記してご利用ください。

※洗濯

洗濯機及び乾燥機が、2階炊事・洗濯室に設置されていますので自由にご利用ください。但し、**利用は午後10時まで**です。

※ゴミの処理

飲食後の空き缶、空き瓶等のゴミは指定されたダストボックスに各自で始末して捨て、常に清潔に心掛けてください。

※電話

所内のみの内線電話（3150番）が2階廊下、（3155番）が1階廊下にあります。

※貴重品

時計、カメラ、現金等の貴重品は必ず各自で保管し、外出の際には部屋に置いておかないよう注意してください。

【防災及び非常時について】

火災予防のため、当施設内での火気の使用には細心の注意を払ってください。**火災等の非常事態が発生した場合は、直ちに管理人又は正門受付(内線 2323)に連絡してください。**火災報知器、消火器は各階に、非常用懐中電灯は各部屋にそれぞれ設置しています。また、非常時に備えてあらかじめ避難経路の確認をしておいてください。

【非常時等連絡先】

共同利用掛(8:30-17:15)	072-451-2312(内線 2312・3153)
宿泊所管理室(9:00-20:00)	072-451-2313(内線 2313)
正門(上記時間外)	072-451-2323(内線 2323)

《来所前の手順》

1. 所内担当責任者と連絡をとり、必要書類を作成のうえ、電子申請システムにより提出してください。

必要書類提出一覧表：

<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/JRS/requiredform2020.html>

提出書類の締切日

- 研究炉利用の場合：利用週の4週間前の月曜日
- 研究炉を利用しない場合：利用週の2週間前

2. 所内で照射・実験計画が確定すると、メールにて通知（約3週間前）をしますので、実験計画をご覧のうえご自身のマシンタイム（日時）を確認してください。
3. 所内各部に関連がありますので、原則として実験計画の変更はできません。
4. 原子炉の故障等で実験ができなくなった場合は、原則として当所で別に定める日に利用いただくことになっています。なお、装置の状態により、予定日を使っても採択された分すべてを消化できない場合もありますので、予めご了承願います。
5. 放射性物質や放射線発生装置を使用される場合は、所属されている機関で放射線業務従事者として登録され、定められた当該年度の健康診断、血液検査、新規（再）教育等を受けていなければなりません。
このような条件を充たしている方が、当所において上記の実験、作業等を実施しようとする場合は、さらに固有の教育を受ける必要があります。
○OKURを使用する実験・研究を初めて行う場合
年2回（4月、10月）実施している保安教育を受講のこと。
○OKURを除く装置や周辺機器を使用する場合
最初の来所時に所内担当者からビデオによる教育（関連する作業場近辺の安全性、入退出方法、実験・作業のための手続等）を受講のこと。この場合、教育した所員は「教育訓練実施報告書」を作成し、保健物理室に提出する。
6. 共同利用については、共同利用掛又は所内担当者からの通知により来所してください。通知を受けないで来所された場合、実験、宿舎、旅費等について責任を持ちかねます。
7. 来所されるときは必ず顔写真付き公的身分証明書（以下に示すもの）をご持参ください。忘れた場合、入所出来ません。
①運転免許証②旅券（パスポート）③住民基本台帳カード（顔写真付き）
④健康保険証（顔写真付き証明書が無い場合に限る）⑤外国人登録証⑥学生証

⑦その他顔写真付きの公的機関が発行した証明書（私立大学の職員証は不可）

8. 放射線業務従事者は所属機関で、個人線量計による被ばく管理を受けておられるはずですので、来所時にはその線量計を持参し、管理区域入域時は当所で交付する線量計とあわせて携行してください。
9. 当所でウラン、プルトニウム、トリウム等の核燃料物質を取り扱う場合、特別の手続きが必要となりますので、所内担当者を通じて所要の手続きをしてください。
10. R I ・核燃料物質を実験のために所内に持ち込むときは、別の諸手続きが必要ですので、所内担当者を通じて手続きをしてください。
11. 当所で毒劇物を取り扱うときは、事前に所内担当者を通じて所要の手続きをしてください。

中央管理室 (内線 2400)

1. 照射使用記録、実験記録等を返却。



共同利用掛 (内線 2312)

1. 退所手続。来所者台帳に退所日時を記帳。



正門受付 (内線 2323)

1. 立入者証の返却。

※立入者証は、昼休み等で外出の都度、返却のうえ、あらためて身分証を提示して、再入所の手続きをとってください。

《所内での生活》

☆研究員宿泊所（内線 2313）

- 宿泊の予約は、出張計画書の所定欄に記入してください。
- 宿泊所を利用される方は、来所の際に、宿泊日数に応じた宿泊料を共同利用掛に前納してください。
- チェックインは午後2時から午後8時の間をお願いします。チェックインが午後8時を過ぎる場合は暗証番号の入力が必要です。
- 入室の際には避難経路を確認しておいてください。
- 自転車や傘は貸出用を備えてありますので、希望する場合は、管理人（午前9時～午後8時）まで申し出てください。
- 各宿泊室・談話室では、無線LANが利用できます。
詳しい情報は、「研究所のネットワークを使用するための諸注意」をご覧ください。
- 宿泊所は禁煙となっておりますのでご協力願います。
- 装置の運転、実験などで深夜に出入りする際や、談笑する際などは、他の利用者の迷惑にならないようにしてください。
- 浴室の使用は午後5時から10時までです。但しシャワーは終日（11:00～13:00を除く）利用できます。
ボディソープとシャンプーは常備していますが、タオル、歯磨きなどの洗面用具は備えておりませんので、各自、持参してください。
- 談話室の利用は午後5時から午後11時までです。
- 夜間（午後8時～翌時午前9時）は玄関を施錠しており、入館には暗証番号が必要です。暗証番号は宿泊予約時にお知らせしますので忘れないようにして下さい。
- 管理人の常駐時間は午前9時～午後8時までです。御用がある場合は、この時間内にお申し出下さい。
- 施設や設備は限られたスタッフと予算で運用されており、汚さず、丁寧な取扱いをお願いします。
- チェックアウト（午前10時）の際は、部屋の鍵と借りた物品を管理人に返却してください。

（備品）

2階炊事場 全自動洗濯機、乾燥機、電子レンジ、オーブントースター、カセット式コンロ、電気ポット、炊飯器、炊事用具、冷蔵庫、IHクッキングヒーター

2階談話室 テレビ、新聞1紙

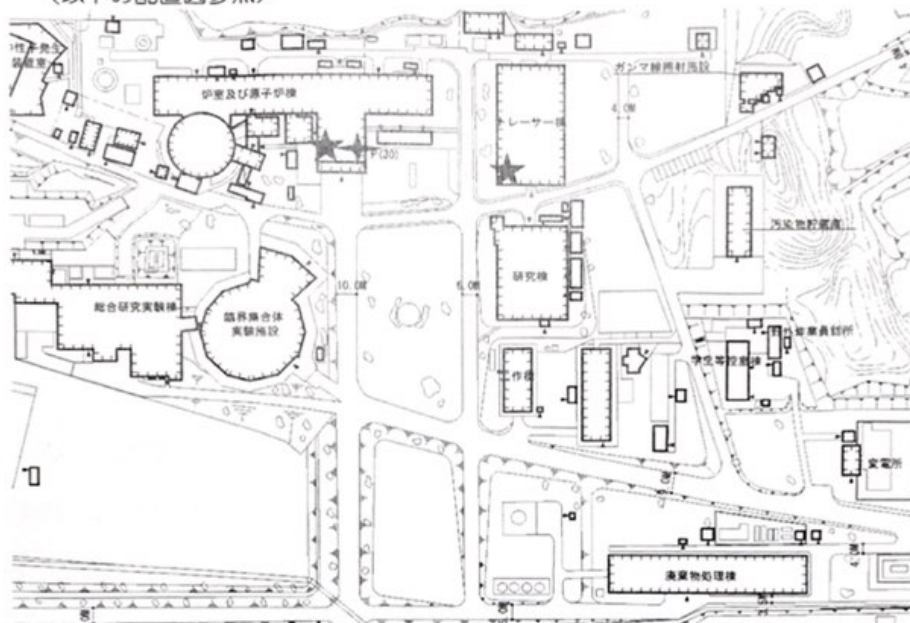
1階各室 小型冷蔵庫

☆共同利用者控室 (内線3300〔トレーサ棟〕)

★共同利用者のために、控室を設けてありますので自由にご利用ください。

✦共同利用セミナー室もご利用になれます。

(以下の配置図参照)



☆図書室 (内線 2311)

図書室は図書棟にあります。開室時間は、平日9時～12時、13時～17時です。
17時以降に利用したい場合は事前に図書掛に連絡してください。

☆医務室 (内線 2308)

医務室は図書棟内にあります。

☆電話

所員の呼び出しは内線電話をご利用ください。

☆飲み物等

飲み物の自動販売機を原子炉棟横及び図書棟横に設置しています。
また、周辺飲食店案内を共同利用掛ホームページ(下記URL参照)に掲載しています。

☆ホームページ

<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>

(複合原子力科学研究所)

<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/JRS/>

(複合原子力科学研究所共同利用掛)

《実験にあたっての心得》

全般として、所内で実験を行う研究者は、その所属する機関において、放射線業務従事者として認定されており、個人被ばく線量の管理及び健康管理が行われていることを前提としております。また、実験に当たっては、次に掲げる基本原則を厳守してください。

1. 実験研究は、安全確保のため、必ず2人以上で行うこと。
2. 実験研究に当たっては、計画予想被ばく総量（週当たり1 mSV）以下で実施できるよう自主的に被ばく管理を行うこと。
3. 管理担当部員や当番職員の指示に従い、他の実験研究者に迷惑をかけること。
また、実験担当者は、「放射線障害予防規程」及び「放射線障害予防規程実施細則」を遵守して実験を行うこと。
4. 原子炉棟、トレーサ棟、廃棄物処理棟、臨界集合体棟、ガンマ照射棟及び中性子発生装置室へ入るときは、管理区域入退出記録の記入を行い、各棟から退出するときは、そのつどハンドフット・クロスモニターで汚染の有無の検査を行うこと。
汚染が検知された時は、ホットラボ保健物理室（内線2333）に連絡し、放射線管理部員の指示を受けてください。
核燃料物質を取り扱う場合は、「実験用核燃料物質取扱要項」、「核燃料物質計量管理規定」による規制があります。
5. すべての実験を通して実験廃棄物の生成が予想されますが、放射性汚染物の取扱に関しては、「保安教育テキスト」に示してあります。
6. 一般廃棄物の取り扱いに関しては、所内担当者に確認のうえ、所定の場所に廃棄すること。

研究所のネットワークを利用するための諸注意

複合原子力科学研究所では、京都大学内各所で京都大学が提供している無線 LAN (eduroam) を利用できます。

所内無線 LAN アクセスポイントの所内設置場所

事務棟大会議室、図書棟、研究員宿泊所

研究棟 1F 共同利用者控室、1F プレハブ会議室、2F 計算機室、3F ロビー

ホットラボ共同利用者専用控室

臨界集合体棟(KUCA) 1F 制御室、2F 会議室、2F 共同利用者室

イノベーションリサーチラボ 講義室、看護師控室

トレーサー棟 化学実験室 1、物理実験室 1、生物別棟、動物実験室

ガンマ線照射施設 管理室、中性子発生装置室 前室、中性子飛行時間分析室

粒子線腫瘍学研究センター 2F 講義室、冷中性子導管実験室、単色中性子実験室、

廃棄物処理棟 第一試験室、総合研究棟(廃棄物処理棟横) ロビー、学生等控室棟

ご自身の所属機関で、既に eduroam アカウントを取得済みの方はそれを利用可能です。

それ以外の方は、**京都大学の教職員からの申請により発行するビジター用アカウントが必要**です(京都大学内限定)。共同利用者の方は共同利用掛でアカウントを取得してください。

無線 LAN で「eduroam」と表示された SSID を選択し、発行されたアカウントとパスワードでログインしてください。ビジター用アカウントについては、ID を

[ビジター用アカウント]@kyoto-u.v.eduroam.jp

として接続してください。

eduroam の使い方の詳細については、下記のページをご覧ください。

<https://www.eduroam.jp/>

注意事項:セキュリティ対策がなされていないパソコンをネットワークに接続しないで下さい。

セキュリティ対策がなされていないと言うのは、例えば以下の様な物を言います。

1. ウイルス対策ソフトウェアがインストールされていない。インストールされていても、更新されていない。
(※Windows10に関しては、OS 標準のウイルス対策ソフトウェアで可とする。)
2. OS やソフトウェアのアップデートが行われていない。
3. 既にサポートの行われていない OS を使っている。

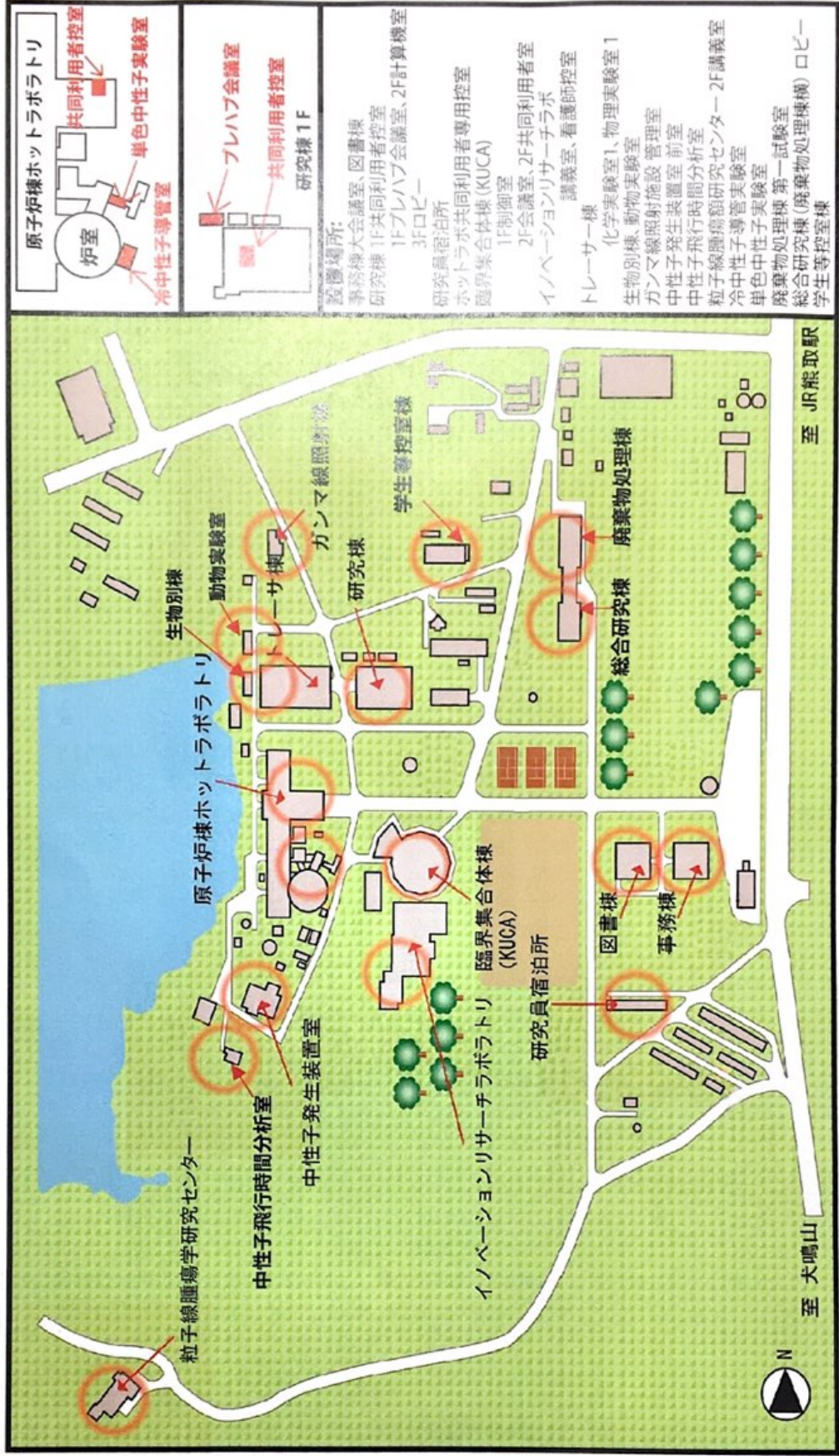
また、Winny や Share、BitTorrent、Kazaa、eMule などのいわゆる P2P ファイル交換ソフトウェアは、研究所のネットワークにおいてはご利用頂けません。

京都大学提供無線 LAN アクセスポイント設置マップ (KUINS-Air, eduroam)

京都大学が提供している無線LANアクセスポイントが下記の建物内でご利用になれます。(※機器の設置場所から離れると電波が入りにくくなります)

お問い合わせ：学術情報本部IT支援チーム (内線 2459)

2019年4月版



《研究報告等》

1. 当所における共同利用研究の成果は、刊行物（『KURNS Progress Report』等）として公表されます。（公開を原則としています。）
2. 申請者は、共同利用研究を終了したときは、英文共同利用研究報告書を、翌年の指定の期日までに提出してください。
この報告書を提出されない場合は、以後の共同利用研究の申請は、審査の対象から除外されることがありますので、注意して下さい。

執筆要領は下記のURLを参照してください。

<http://www.ri.kyoto-u.ac.jp/PUB/houkokusyo.html>

4. 当所の設備を利用して行われた研究や所員との共同研究の成果として発表した論文がある場合は、所定の様式に記入して提出してください。
3. 論文を発表する場合は、複合原子力科学研究所での共同利用研究によることを明記してください。
英文の場合には、次のような例文が考えられます。
脚注か、Acknowledgement等適当な場所に入れて下さい。

• This work has been carried out in part under the Visiting Researchers Program of Kyoto University Institute for Integrated Radiation and Nuclear Science.

• This work has been performed at the Institute for the Integrated Radiation and Nuclear Science, Kyoto University

• This work has been performed by using facilities of the Institute for Integrated Radiation and Nuclear Science, Kyoto University.